

理事主題 Challenges for the future 未来への挑戦

事業主任主題 ワイズの炎を燃やせ！ 活気あふれるクラブライフを謳歌しよう！

目次

- 1) 後期半年報・EMC 調査集計 12月1月
- 2) 京都 ZERO クラブさんの取り組み
- 3) 阪和部さんの取り組み
- 4) 編集後記

今号のダイジェスト

西日本区の皆様、こんにちは。EMC 事業主任の山口です。いつもお世話になり、ありがとうございます。今回お届けします第7号のダイジェストです。

- 1) 西日本区後期半年報及び EMC 調査集計 12月・1月分
1月1日付のクラブ会員数を集計した「後期半年報」が西日本区ホームページに掲載されています。また、2月に行いました EMC 調査集計の結果についてお知らせします。
- 2) 京都 ZERO ワイズメンズクラブさんの取り組み
会員数を増員されているクラブの取り組みとしまして、京都 ZERO クラブさんの「入会オリエンテーションとハッピーアワー」についてご紹介します。
- 3) 阪和部さんの取り組み
部のつながりや情報伝達を促進する取り組みとして、阪和部さんの「阪和部 ZOOM 会議」について部長の大谷さんに語っていただきました。
- 4) 編集後記
半期を終えて感じていることや、今思っていることをいつもよりちょっと長めのトークです。

<編集>
西日本区 EMC 事業主任
山口 雅也
(京都キャピタル)

~~~~~  
Now, let's start the newsletter! I hope you enjoy it!

## 目次

- 1) 後期半年報・EMC 調査集計 12月1月
- 2) 京都 ZERO クラブさんの取り組み
- 3) 阪和部さんの取り組み
- 4) 編集後記

## 後期半年報

西日本区ホームページに「後期半年報」が発表されました。

半年報詳細は→[こちらから](#)

## ■2021～2022年度後期半年報結果と直近2回の半年報結果

|          | 中部  | びわこ部  | 京都部  | 阪和部 | 中西部   |
|----------|-----|-------|------|-----|-------|
| 2021年度後期 | 84  | 92    | 511  | 106 | 94    |
| 2021年度前期 | 83  | 89    | 507  | 105 | 96    |
| 2020年度後期 | 89  | 101   | 525  | 108 | 104   |
|          | 六甲部 | 瀬戸山陰部 | 西中国部 | 九州部 | 西日本区計 |
| 2021年度後期 | 136 | 48    | 60   | 235 | 1366  |
| 2021年度前期 | 139 | 46    | 61   | 241 | 1367  |
| 2020年度後期 | 137 | 46    | 65   | 249 | 1424  |

緑色の帯が今回の結果です。直近2回の結果と合わせ掲載します。

## EMC 調査集計表 12月 1月

12月度 2022年1月度の EMC 調査集計を行いました。EMC 調査集計を担当していただいているクラブ役員の皆様、各部の EMC 事業主査の皆様、本当にありがとうございます。

・12月分の調査結果は→[こちらから](#)

・1月分の調査結果は→[こちらから](#)

西日本区のホームページ>西日本区役員>EMC 事業委員会と、たどっていただいた先のページに掲載しています。

EMC 調査集計については、上がってきた数字を前期半年報から入退会情報と紐付けて検算をしますので、急に会員の増減があると会員異動届が未提出の場合が浮かび上がってきます。今期やってよかったのは、コロナ禍で例会をやむを得ず中止にしている現状が把握できていることです。クラブで企画した例会を中止にすることは会長やメンバーにとっても痛いことだろうな。その月にゲストをお誘いする約束をしていたメンバーは紹介の機会を失って残念な思いをしているだろうな。などが調査結果から感じられます。年初に立てた計画とおりにいかない状況といえます。しかし、その変化に対応していかないといけないところが非常に難しい舵取り（クラブ運営）となっています。

## &lt;編集&gt;

西日本区 EMC 事業主任

山口 雅也

(京都キャピタル)

## 目 次

- 1) 後期半年報・EMC 調査集計 12月1月
- 2) 京都 ZERO クラブさんの取り組み
- 3) 阪和部さんの取り組み
- 4) 編集後記

## 入会オリエンテーション・ハッピーアワー

京都 ZERO ワイズメンズクラブ EMC 事業実施報告書から

12月21日(火)にel'Polloにて入会オリエンテーションと同オリエンテーションに参加していただいたゲスト3名、新入会員4名の方の歓迎でハッピーアワーを開催いたしました。

通常はYMCA 三条会館にてオリエンテーションを実施していますが、今回は会場が異なりましたので、資料を配布してオリエンテーションを実施し、その後のワイズ活動の経験談については各メンバーがゲスト、新入会員の方々の席を回る形でお話しさせていただく形式をとりました。いつもの形式とは異なりましたが、ゲスト、新入会員のほかメンバー合わせて17名の出席があり、ゲスト、新入会員の歓迎ができました。これからさらなるEMC活動を実施するにあたり試金石となるイベントとなりました。



「ハッピーアワーとは」

例会とは違う日時と場所で行われる、ゲストと会員の楽しい交流会を指す。メンバーからはZEROの良さや楽しさが伝えられ、メンバーもZEROのメンバーであることの良さを再認識できる場になる。ゲストが来ていただきやすい環境の提供にも役立っている。

<編集>

西日本区EMC事業主任

山口 雅也

(京都キャピタル)

## 目次

- 1) 後期半年報・EMC 調査集計 12月1月
- 2) 京都 ZERO クラブさんの取り組み
- 3) 阪和部さんの取り組み
- 4) 編集後記

## 平均 82 歳、阪和部スタッフと ZOOM との出会い

阪和部 部長 大谷 茂

昨年 2 月中井部長、奈良クラブの皆さんの努力で初めて阪和部会をハイブリッド開催とし次期部スタッフの我々（金城、坂本、故東、大谷）も初体験をすることになりました。

巷ではコロナ禍が云々され、ZOOM が必要なツールになり、それを使いこなすことが今後必要との雰囲気在我々に浸透し、否応なしに何とかしなければという状態になってしまいました。困った時の和歌山 YMCA スタッフ頼みで我々 4 名が YMCA の会議室に何度か足を運び教えを乞いました。

「声が聞こえない」「顔が映らない」「ミュートってどこにあるの」…時がたって「あなたの顔が映った!」「声が聞こえた!」と年甲斐もなく感激で大はしゃぎになりました。

今期の部長主題は「阪和部はひとつ 発想を変えてワイズ活動を」であり、阪和部をひとつにする具体的な方法は「105 人全てのメンバーに情報をスピーディに伝え共有する事」だという思いで ZOOM を良く利用しています。

「阪和部 ZOOM 会議」として年間の開催日を設定し、参加対象者の皆様に周知をしました。当期で 8 回開催予定で既に 5 回は開催済みです。(8/25、9/22、11/24、12/22、1/26)

参加者は会長、主査、委員長、阪和部スタッフ約 20 名で、時間は 19 時～20 時 30 分です。定期の阪和部 ZOOM 会議以外に情報・広報委員会の開催等他にも頻繁に利用しています。

昨日(2/19)も第 3 回評議会をリアルから ZOOM に変更し開催しました。(30 名、2 時間 30 分)

「習うより慣れろ」で段々とツールらしくなってきました。でもツールはツールで目的の情報の共有に寄与できているかという点ですが、少しずつ阪和部はそのツールによって一つになりつつあるのかなと感じています。

&lt;編集&gt;

西日本区 EMC 事業主任

山口 雅也

(京都キャピタル)

## 目 次

- 1) 後期半年報・EMC 調査集計 12月1月
- 2) 京都 ZERO クラブさんの取り組み
- 3) 阪和部さんの取り組み
- 4) 編集後記

## 編集後記

最後までお読みいただき、ありがとうございます。今回は上半期を終え、事業主任して思うことを書きます。

やはり一番はコロナ禍におけるクラブ運営や部や区の運営がいかに困難であるかということです。今期の取り組みの特色として、「EMC 事業計画の作成と実行」がありますが、その計画通りに事業を進めることができないどころか、メンバー間の交流が思い通り取れないことは EMC 事業にとって大きな痛手となっています。しかし、その変化に対応した運営を続けていかねばなりません。

そんな中で会員増強に取り組む良い例として、京都 ZERO クラブさんや京都トップスクラブさんが行われている、入会前のクラブ説明会（オリエンテーション）が新しいと思います。通常だとスポンサーが口説いて例会に参加してもらい、クラブの事を説明しますが、その前に、ワイズメンズクラブとは？我々のクラブとは？という事をたくさんのメンバーと一緒にゲストさんへ丁寧に説明したうえでクラブへエスコートする。時間やメンバーの協力が必要なプロセスですが、それを組織的に落とし込んでいるところが会員増強に成果を挙げている要因だと感じます。

次に一見、EMC には関係のないことのように思われますが、阪和部の ZOOM 会議は「105 人すべてのメンバーに情報をスピーディーに伝え共有する」という点で、大谷部長さんのリーダーシップを感じます。大谷さんはツールについて書いておられますが、根本は、「阪和部はひとつ 発想を変えて」なのだと思います。会議の回数を重ねることで参加者の共有事項が増えていき、部長さんの考えや部としての目標や方針に共感が生まれていっているのではないのでしょうか。

今回ご紹介できていない EMC の良い例は西日本区にたくさんあると思います。まだ芽が出ていないけれど大きな可能性のある取り組みをしておられるクラブや部があります。時期を見ながら焦ることなくやり続けること。あきらめず、発想を変え、他のクラブへ訪問して刺激を受けることなどやれることはたくさんあります。あと今期も 4 か月ですが、『ワイズは続くよ、どこまでも』です。引き続き EMC の取り組みをお願い致します。(山口)

## &lt;編集&gt;

西日本区 EMC 事業主任

山口 雅也

(京都キャピタル)